

## 厳しい冬があるからこそ

船引小学校長 安生昌弘

多くの木、特に平たい葉っぱの木々は、寒くなってくると赤や黄色に紅葉して葉を落とします。松や杉など、針のように尖(とが)った葉っぱの木は、寒くなっても紅葉したり葉を落としたりしないことも多いです。桜の木やプラタナスの木のように全ての葉を落として枝だけになっているような木は死んでしまったのでしょうか。死んでしまったのではないことは、みんなも分かっていますよね。では、なぜ桜の木やプラタナスの木は葉を落とすのでしょうか。落ち葉について『葉っぱのフレディ』というお話があります。

春のある日、ある木に新しい葉っぱが誕生しました。フレディとその仲間たち、ダニエル、クレア、ベンジャミンたちです。春には、生まれた喜びをからだいっぱいに感じました。

夏になりました。葉っぱたちは立派なからだに成長しました。ダニエルたちはフレディに葉っぱには大切な仕事があると教えました。それは木を育てるだけでなく、人間に対して、涼しい木陰をつくってあげたり、雨降りの時、雨宿りの場所に使ってもらうことでした。

秋になり葉っぱたちは美しく紅葉しました。しかし、まもなく冷たい風が吹き始め、葉っぱたちは散ること、つまりは死ぬことを覚悟しなければならなくなりました。フレディはダニエルに訊ねました。「春に生まれて冬に死ぬのだったら、ぼくはどうして生まれてきたんだろう」と。

冬がさらに近づきました。ダニエルたちは「死ぬことは命が入れ替わることだよ。命は永遠に生き続けるんだ。」と言って次々に散って死んでいきました。そして、冬のある朝、枝にたった一人残ったフレディはつぶやきました。

「ぼくは死ぬけど、春になると命が引き継がれて、この枝から新しい命が生まれるんだな。」

やがて、雪が降った地面の上にフレディは独りで散ってゆきました。”



木は冬の間、役目の終えた葉を散らして、次の新しい命である花や葉を生み出す準備をし続けているのですね。私たちも同じかも知れません。春からの新しい学年や中学校に進んだ時に精一杯頑張れる力を寒い今の時期につけておかなければならないんです。寒さを自然からの励ましだと思って、授業に集中して学習したり、家庭学習をたくさんやったり、本をたくさん読んだりして、学校でも家庭でも粘り強く学んでいきましょう。体力づくりでは縄跳びを頑張っていますね。冬の寒い間の学習や体力づくり、そして、その他に色々みんなが頑張っていることは、暖かくなった春に必ずみんなを助けてくれるはずです。葉っぱのフレディのように、自然の中には私たち人間が生き方のお手本にできるものがたくさんあるのですね。

これは2月6日の全校集会で話した内容です。